

令和5年度 第1回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2023年（令和5年）6月16日（金） 10：00～12：00
2. 場所：市役所5階会議室
3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（曾志、森谷、江連）
池子小学校区住民自治協議会（田宮、鈴木）
久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井）
小坪小学校区住民自治協議会（吉田、原田）
※敬称略

桐ヶ谷覚市長

地域担当職員リーダー（須田透環境都市部次長、雲林隆継教育部次長、廣末治廣福祉部次長、山田悟史総務部次長、青柳大典環境都市部次長）
市民協働部（岩佐正朗部長、新倉良枝市民協働課長、西久美子市民協働係長、今野仁介市民協働課主事（議事録作成者））

4. 議事

1. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
2. その他

5. 資料

1. 沼間小学校区地域連合会（沼間住民協）防災マップ
2. 沼間小学校区地域連合会だより
3. 池子小学校区住民自治協議会たより

6. 概要

議事1 「各住民自治協議会の活動に関する意見交換」について

- 市長から地域（住民協）の共通課題について次のとおり説明があり、意見交換を行った。

〈防災〉

- ・地域において様々な課題があるが、共通課題は「防災」であると認識している。公助の観点は前提としてある中で、共助も同様に重要であるため、住民協が防災・減災を通じて、より強固なものになって欲しいと考える。
- ・現在行っている図上訓練において、地区防災拠点との情報受伝達の訓練を取り入れており、この中でも連携を深めていければと思う。

〈地域公共交通〉

- ・生活の足の確保という視点で、地域公共交通も引き続き課題と考えている。以前アーデン

ヒル地域においてデマンドタクシーの実証実験を行ったところであるが、今後タクシー会社と連携し、アプリ等を活用した実証実験を予定している。

・他市のコミュニティバスの現地視察を行ったが、各地域における交通事情を踏まえた制度設計の重要性を再認識した。制度設計を行うに当たっては、地域の実情等を踏まえたものとするために、令和6年度の実証実験予算化の際、各住民協においても地域の要望について情報提供いただきたい。

【意見概要】

(久木)

・小学校区ごとの防災訓練について、市と避難所運営委員会で連携を深めたうえで、効果的に実施していくべきと考える。

・住民協においても役員等の高齢化は進んでおり、活発に動けないことに苦慮している。若い人が積極的に参加できるような環境づくりを進めたい。

(小坪)

・市が住民協や防災施策を推し進めていく際には、組織の縦割りの枠を超え、横串を通した有機的な連携に期待したい。

(池子)

・防災について、災害への事前の対策はもちろんのこと、被災してからの事後の対応、リカバリーが重要と考える。その視点に基づいた具体的方策がなく、準備が整っていないように思える。

(市長)

・災害時において、一般的に被災から72時間経過するまでには、外部からの救助（自衛隊等）が到着すると言われている。市のみで災害の全てに対応するには難しい部分があるため、被災からの72時間どう乗り越えるかということを市でしっかりと考えていきたい。

(小坪)

・公助と共助の重要性は理解できる。ただ、住民協が動くためにも、市は住民協（地域）に対して、何をどの程度求めているのかを明確にしてもらいたい。非常時の要支援者のデータを自治会独自で把握しているケースもある。

(久木)

・防災が住民協の課題であると示してもらったことには大きな意義を感じる。

・ハイランド地域に坂が多いという点からも地域公共交通施策には期待をしており、住民協でも様々検討したい。

(沼間)

・有事の際、多くの方が自宅に留まっての避難が想定される中で、周囲を頼ることのできない方については、現実として近所や自治会で見守らざるを得ないと思う。そうした中で、市は住民協（地域）に対して、役割分担を示してもらいたいところである。

・小学校区の境の住人については、避難所運営委員会に参加できておらず、役員メンバーにもなっていない例もある。そういった方がいることを意識したうえで、災害時に安心できる

仕組みづくりをしっかりとしてもらいたい。

(岩佐正朗市民協働部長)

・市職員で実施した災害を想定した図上訓練においては、外部からの救助（自衛隊等）が来るタイミングとされる3日間（72時間）は市、地域で災害に対応するという念頭に実施された。避難所では情報を入手できるため、自主防災組織が地域の方をどのように避難所へ連れてくるかということは1つの課題であった。市と地域の方、それぞれの役割を認識するためにも、イメージの共有は非常に重要な点だと考える。

(久木)

・この度、地区防災拠点が出来たが、実際に情報発信の訓練等も実施してもらいたい。

(沼間)

・一口に避難所と言っても、一時避難場所、指定緊急避難場所等、様々種類があるため、分かりやすく整理したうえでの周知が必要と感じる。

(久木)

・各住民協のおっしゃることに概ね同意である。平時の際に市と地域で、防災に関する強固な協力体制を作るべきである。

・交通施策について、逗子は歩行者と自転車のまちであると思うので、道路の狭さ等の問題はあつものの、警察にも協力を要請し、再度様々な検討が必要であると感じる。

(小坪)

・逗子小学校区の住民協設立について継続して取り組むという話だったが、逗子地域の立ち上げ意識が低い中ではやはり難しい部分があると感じる。

(市長)

・防災を軸に考えると小学校区ごとに住民協がある状態が望ましい。一部自治会の連合という形をもって住民協を設立することもあり得ると考えている。

(久木)

・住民協条例（地域自治に関する条例）は今後どのような形で進んでいくのか。

(岩佐正朗市民協働部長)

・昨年度、懇話会において条例案に様々なご意見をいただいたところではあるが、逗子小学校区の状況、条例に盛り込む防災の要素等を総合的に勘案したうえで進めていかななくてはならないため、条例化の時期についての明言は難しい。

(市長)

・様々な不確定要素がある中で、条例を制定したことによって住民協が動きづらくなってしまふ恐れもあるため、全体の状況をしっかりと見定めたいと考えている。

(沼間)

・住民協を運営していく際、事務負担（議事録・予算作成等）が大きいと感じ、市にカバーをお願いしたい部分もある。

※公務のため市長は退出

(新倉良枝市民協働課長)

- ・各住民協の近況についてお話いただきたい。

【沼間小学校区地域連合会】

・防災マップのリニューアルにあたっては、他の住民協のマップを参考にアイデアを取り入れたうえで、小学校区全域へ配布した。このマップが呼び水となり、地域の方に身の回りの避難経路について考えてもらう等、防災意識の向上に一定寄与できているのではないかと感じている。

- ・先日総会も無事終了したが、コロナの収束と共に新年度のメンバーとしっかりとリスタートしていきたい。

【小坪住民協】

・先日6月4日にみんなのマルシェが開催された。船上市場は中止となったものの、32店舗もの出店があり、来場者が1,000人超えの大盛況なイベントとなった。HP、インスタ、チラシ等で周知を実施したが、アンケートによると5割がロコミによる来場だったため、今後の周知方法を検討していきたい。

【池子住民協】

・引き続き、空き家を活用した地域の図書館の開館に向け調整を行っている。貸主との契約書の取り交わしを終え、内部の片付けをしているところである。近隣の方への説明も実施しているが、空き家の活用は大変だと実感している。

【久木住民協】

- ・5月に総会を実施し、市長にもご来場いただき40人程度の参加があった。
- ・現在、久木会館の移設に向けて、ワークショップに参加し、施設の機能や間取りの検討を行っている。今後パブリックコメントが実施されるが、会館、利用者の声を集約し、上手く図面に反映することができたと思う。

議事2 その他

(新倉良枝市民協働課長)

- ・参加者の負担感ということ等を考慮し、本連絡会の開催頻度について、次回以降議論できればと考えている。